

景観グループ



虫だより

◆ならやまの周辺散歩

越智 健介

健康の為、1日1万歩を目指して、水上池、ウワナベ、コナベ、磐之媛命陵(仁徳天皇皇后陵)等を歩いています。11/21~23にはウワナベ古墳の初の一般公開があり参加しました。前方後円墳全国ランキング12位(270~280m)だそうです。説として八田皇女(やたのひめみこ)が被葬候補者の一人ともいわれています。彼女は磐之媛命(いわのひめのみこと)の後の皇后であったとされている…。磐之媛命は嫉妬深い女性であり、磐之媛命が八田皇女を妃とすることを許さなかったらしい。なぜ仁徳天皇陵の2人の皇后陵が天皇陵からこれほど遠いところに並んで隣にあるのか?いろいろ妄想できて面白い。



また水上池には、なぜか白鳥(コーちゃんという名前だそうです)が1年中住んでおり、餌(主にスギナ)をやるのも楽しい時間です。コロナのおかげでかえって健康になったかも??

●佐保自然の森竹林整備と除草

ベースキャンプから佐保自然の森は道沿いで2キロ以上あり、自走式草刈機を押して行くと30分以上かかります。以前から観察路で山越えできないかと思っていました。今回、2タイプの内、小さい方の自走式草刈機で挑戦してみました。なんと半分以下の時間に成功しました。近隣の地権者も考慮し、道の溝などはほとんど整地せずに走破できました。

これで、軽トラが無くても、いつでも佐保自然の森に草刈りに行けます。

大きい方の自走式草刈機も、もう少し道を整備すれば行けるかも?・・来年はぜひ挑戦してみたいところです。

◆昆虫の英語名(2)

菊川 年明

ハエ

ハエの英語名は fly (フライ) であるが、fly は広く飛ぶ虫も指している。それで頭に言葉を冠して幾種類かの昆虫の名前になっている。

トンボ

トンボは dragonfly である。(飛ぶことのできる) 竜虫ということであろうか。精悍な容顔と胴が長いところから竜になぞらえたのであろう。オニヤンマなどを見るときなるほどと頷ける。ちなみに、トンボという名前は「飛ぶ棒」からと言われている。

ホタル

ホタルは firefly である。説明を要しない絶妙の名付けである。

チョウ

チョウは butterfly である。「バターの飛ぶ虫」?ということになるが、意味不明である。最初は黄色っぽいチョウを指していたのがチョウ一般の名前に変化したとの説もある。

バッタ

バッタは grasshopper である。草むらをぴょんぴょん跳ねるからで、うまい名付けである。

スズムシ

スズムシはコオロギと同じ cricket だそうである。英語圏ではわが国のように虫の声を愛する風習はないので、草むらで鳴く虫は一括りにして cricket と呼んでいるようだ。ただし、bell (鈴) cricket という呼び名もあるそうだ。